

2014年2月27日

独立行政法人日本スポーツ振興センター 理事長
河野一郎 様

神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会 共同代表
大橋智子(大橋智子建築事務所)
上村千寿子(景観と住環境を考える全国ネットワーク)
酒井美和子(デザイナー・まちまち net)
清水伸子(一般社団法人グローバルコーディネーター)
多田君枝(『コンフォルト』編集長)
多児貞子(たてももの応援団)
日置圭子(地域文化企画コーディネーター・粋まち代表)
森桜(アートコーディネーター・森オフィス代表)
森まゆみ(作家・谷根千工房)
山本玲子(全国町並み保存連盟)
吉見千晶(住宅遺産トラスト)
メール info@2020-tokyo.sakura.ne.jp
ファクス 03-6380-8812
ホームページ <http://2020-tokyo.sakura.ne.jp>

公開質問状「新国立競技場に関するご回答のお願い」

時下、ますますご清祥のことと存じます。

先日は、公開質問状「新国立競技場競技に関するご回答のお願い」にご回答いただきまして、ありがとうございました。しかし、ご回答の内容は、残念ながら、私たちの質問に正面から答えていただけていないものが多く、疑問を払拭することができませんでした。つきましては、さきにお送りした要望書「新国立競技場再考の要望書」へのご回答内容も含め、改めまして、下記19点をお尋ねします。お手数ですが、2014年3月20日までにご回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、この質問状は、14,000人の賛同者の疑問を背景にしておりますので、質問事項とご回答内容を当会のホームページなどで公開するとともに、マスコミにも告知させていただく予定です。また次回は、ご回答内容をもとに面談による質疑応答をお願いしたいと思います。

「新国立競技場再考の要望書」(2013年11月25日質問→12月16日ご回答)

3. 観客の誘導計画について

「入退場や災害時の誘導避難については、基本設計の中で検討して行く」とありますが、誘導計画は、観客や地元住民が最も懸念する点です。基本設計が終わった段階で、誘導計画を公表してください。公表方法と時期をお教えてください。

6. 収支計画について

6-1. 収支計画の試算について「第三者の専門機関に審査を依頼している」とありますが、機関名をお教えてください。

6-2. また収入の名目を示されましたが、その後、当会の調査により下記の内訳金額が明らかになりました。

- 1) 企業賃貸スペース(パートナー収入) 18億4400万円
- 2) 会員シート・迎賓 9億600万円
- 3) 興行事業 9億6200万円

- 4) コンベンション事業 4億7400万円
 - 5) フィットネス事業 1億3500万円
 - 6) 物販・飲食事業 1億5400万円
 - 7) その他 8000万円
- 合計45億5500万円

- 6-2-1. その後、収入の試算が50億円になったようですが、どの部分が増額したのか、お教えてください。
- 6-2-2. この中で高額な1) 企業賃貸スペース 2) 会員シート・迎賓 については、さらなる内訳をお教えてください。
- 6-2-3. 特に3) の興行事業については、下記をお教えてください。
 - 6-2-3-1. 基本料金は1日5,000万円間違いありませんか？陸上競技関係者からは、味の素スタジアム(1日1,000万円)でさえ高く払えないと聞いています。基本料金は、利用者のジャンル(球技、陸上、音楽)を問わず一律なのでしょうか？異なる場合は、ジャンルに応じた料金ランクをお教えてください。
 - 6-2-3-2. 現国立競技場の使用料は[基本料金+附属料+入場料×10%]と聞いていますが、新国立競技場の料金設定をお教えてください。
 - 6-2-3-3. 興行事業で見込まれるスポーツの大会名、音楽家名、利用日数、入場者数、収入金額を具体的にお教えてください。
 - 6-2-3-4. スポーツの大会については、サッカー20日、ラグビー5日、陸上11日の利用を見込んでいるようですが、具体的な大会名をお教えてください。

7. 平成23年度の改修基本計画について

平成23年度に現国立競技場の改修基本計画の検討がなされ、工事費の試算は777億円であったと回答されています。一方、改修できない理由は、130㎡の範囲が突出し、東京都から既存不適格の指摘を受けており、9レーンへの改修もできないとしています。

- 7-1. 既存不適格部分について、これまで東京都に借用料を払い、何ら問題にならなかったのは、なぜでしょうか？
- 7-2. 既存不適格部分は、1964年の増築時に突出していますが、東京都は50年もの長期間、この部分をどのように扱ってきたのでしょうか？
- 7-3. 改修基本計画のような大規模改修において、既存不適格部分を改修することは可能ではないのでしょうか？改修できないと判断された理由を具体的にお示しください。
- 7-4. 改修基本計画では競技場の地下を掘り、メインスタンドの建替えもする大規模な改修ですが、トラックの9レーンへの改修は可能ではないのでしょうか？改修できないと判断された理由を具体的にお示しください。
- 7-5. 上記等の理由で改修ができないと結論づけていますが、実施できないものになぜ777億円という試算を行ったのでしょうか？
- 7-6. 改修ではなく建替えを視野に入れた抜本的な見直しが必要と報告されたとありますが、この報告はどなたがいつ行ったのでしょうか？

「新国立競技場の国際デザイン競技に関するご回答のお願い」

(2013年12月24日質問→2014年1月31日ご回答)

(1) 募集要項について

Q01. 募集要項の検討過程について

募集要項について「議事概要等の公表に向けた準備を進めている」そうですが、

Q01-1. 概要の公表方法と時期をお教えてください。

Q01-2. 概要だけでなく、議事録も公開してください。公開方法と時期をお教えてください。

Q04. 予算1,300億円の理由

別途資料「新国立競技場建設費」によると、競技場の本体建設工事は、約922億円と試算されています。これは日産スタジアムをベースにしたとありますが、日産スタジアムが約600億円に対して、なぜ、1.5倍以上の約922億円としたのか、理由をお教えてください。

Q06. 風致地区と歴史性について

コンクールの応募者には「航空写真や現況写真を参考資料として提示した」とのことですが、敷地の特徴である風致地区、

歴史性についてはどのように説明されたのでしょうか？特にザハ・ハディド氏ら海外の応募者にはどのように提示したのでしょうか？

Q07. 8万人収容を常設にする理由

Q07-1. 「新国立競技場は50年、100年使用する計画」とのことですが、少子高齢化・多死社会を迎えた日本で50年先、100年先まで8万人収容の巨大スタジアムを使い続けることが可能でしょうか？「ワールドカップ・サッカーや世界陸上などの国際競技大会を誘致する」とありますが、そうした大会は数年に1度のことです。ワールドカップや世界陸上以外に想定される8万人規模のスポーツの大会やコンサートの名称を具体的にお教えてください。

Q07-2. 「すでに8万人規模のスタジアムが存在するロンドンと、存在していない日本では事情が異なる」とのことですが、ロンドンのオリンピックスタジアムは仮設だったからこそ、8万人から6万人に減築できたわけです。また東京近郊にも、すでに日産スタジアム(約7.2万人)、埼玉スタジアム(約6.3万人)、味の素スタジアム(約5万人)があります。この規模の競技場でさえ収支比率は60%以下です。8万人を常設でつくってしまえば簡単には減築できず、収支は厳しくなり、さらに他の競技場を圧迫することにもなりかねません。この状況下で8万人収容を常設でつくらなくてはならない根拠をお教えてください。

Q08. 開閉式屋根

Q08-1. 開閉式屋根の技術的な問題

Q08-1-1. 開閉式屋根の材質として、フッ素樹脂 ETFE の使用を検討されていると聞きましたが、これは耐火性に問題があり日本国内の屋根での使用は認可されていません。耐火性の問題をどのように解決されるのか、お教えてください。

Q08-1-2. 建築構造設計家の今川憲英さんは、「キール構造は、雪の重みでたわむ危険性がある」と指摘されています。雪害対策について、お教えてください。

Q08-1-3. 世界各国で観戦経験のあるサッカージャーナリストの後藤健生さんは、「高さ70mのドーム状の屋根では、屋根が高すぎるため、雨風が競技場内の観客席にまで吹き込み、ほとんど役に立たない」と指摘しています。ゲリラ豪雨など昨今の急変する天候について、どのように対応されるのか、お教えてください。

Q08-2. 開閉式屋根を最終的に決めた人物

「政府部内で検討いただいた結果、その必要性から、開閉式屋根の設置が認められた」とありますが、「政府部内」とは具体的にどなたのことでしょうか？

Q08-3. 開閉式屋根をかける根拠としての文化イベント

Q08-3-1. 現国立競技場で開催された文化イベントの実績をお教えてください。過去5年(2009年-2013年)の音楽家名、使用日数、入場者数、収入金額をお示ください。

Q08-3-2. 新国立競技場で見込んでいる文化イベントを具体的にお教えてください。開場から向こう5年(2019年-2023年)の音楽家名、使用日数、入場者数、収入金額などをお示ください。

Q08-4. 屋根の開閉にかかる費用と時間

開閉式の屋根について、参議院予算委員会での答弁によると、開閉にかかる費用は1回につき「電気代10,000円」とのことでしたが、電気代以外の人件費等を含めた経費の総額をお示ください。また、屋根の開閉にかかる時間もお教えてください。

(2) 審査について

Q09. 審査委員を選んだ人物

10人の審査委員を選んだのは、どなたでしょうか？なぜ、審査委員に防災、交通の専門家がいないのでしょうか？

Q10. イギリス人審査委員について

2人のイギリス人審査委員について「日程調整等に努めましたが、結果として、ご出席ができませんでした」とありますが、自民党撲滅チームには「そもそも審査日程が最初から合わなかったので来日していない」と回答されています。

Q10-1. そもそも日程が合わない人に審査委員をお願いすること自体に問題があるのではないのでしょうか？2人のイギリス人を審査委員に選んだ理由をお教えてください。

Q10-2. 「二次審査に入る前に、一次審査で選ばれた作品をご説明し、各作品の評価や投票をしていただき」とありますが、これは、どなたが渡英して説明に行かれたのでしょうか？

Q10-3. イギリス人審査委員の審査内容と投票結果を公開してください。公開方法と時期をお教えてください。

Q10-4. 審査委員の委嘱期間は、新国立競技場の竣工までと回答されましたが、イギリス人審査委員は今後も来日しないまま審議を続けるのでしょうか？その場合は、どなたが他の審査委員との調整をして審議を進めるのでしょうか？

Q11. 審査内容について

「本年度内に国際デザインコンクールの報告書を作成する予定」とありますが、

Q11-1. 報告書の公表方法と時期をお教えてください。

Q11-2. 報告書だけでなく、議事録を公開してください。議事録の公開方法と時期をお教えてください。

Q11-3. 特に、各審査委員の発言内容と投票結果をお示ください。

Q11-4. 特に、敷地と建設予算の両面で募集要項を満たさなかったザハ・ハディド氏の案が選ばれた理由をお示ください。

Q13. 審査委員の報酬と審査時間

審査委員の審議事項と報酬をお教えいただきましたが、1回あたりの謝金だけでなく、各審査委員に、これまで支払った報酬総額と審査にかけた時間をお教えてください。(イギリス人2人を含む)

(3) 現在の縮小案について

Q14. 審査の公平性

コンクールに応募した建築家の伊東豊雄さんは「一度コンクールで決定したデザインがあとから改変されるのは、明らかに公平性を欠いている。夢のようなプランを出してコンクールを勝ち抜き、あとで大幅に修正することが許されるのなら、コンクール案は何でもありになってしまう」また、学者の中沢新一さんは「変更後のデザインを最初のコンクールに出していたら、果たして最優秀賞に選ばれたでしょうか？」と問うています。上記以外にもコンクールや審査をやり直した方がいいという声が数多く上がっています。コンクールの主催者として、審査の公平性をお示ください。

Q15. 監修者と設計者の調整

当選案から現在の縮小案にいたるまで、大幅な変更が加えられましたが、デザイン監修者(ザハ・ハディド・アーキテツ)と設計担当者(日建設計ほか4社JV)との調整は、どなたが行っているのでしょうか？

(4) デザイン監修者について

Q17. 監修者の業務と報酬

Q17-1. ザハ・ハディド・アーキテツのデザイン監修業務とは具体的にどのような仕事を指すのか、お教えてください。

Q17-2. 監修費について、自民党無駄撲滅チームには13億円と回答されていますが、参議院予算委員会では3億円と答弁されています。正確な金額と支払時期をお教えてください。

Q17-3. ザハ・ハディド・アーキテツとは、フレームワーク設計と基本設計のそれぞれで監修業務の契約を締結しているようですので、2つの監修費の内訳もお教えてください。

(5) 市民の参加について

Q18. 情報公開と説明責任

デザインコンクールについて「広く国民の皆様にお知らせしている」とありますが、以上の質問からも明らかのように、コンクールの経緯や審査過程は、国民にほとんど知らされていないのが現状です。また河野太郎議員は「国立競技場のデザインに関して、JSC が批判的な記事や本にはデザイン案の掲載を認めないなどと恫喝している事実が複数確認された。国民の税金で造られる施設であり、批判されるだけの理由があるにもかかわらず、このような対応をしていることはJSCの当事者能力が疑われる」と述べています。

Q18-1. 今後、JSCの情報公開への姿勢が大きく問われると思われまます。情報公開の具体的な方法をお示ください。

Q18-2. ご回答では「広く関係者の意見が反映されるような様々な取組みを進めていく」とありますが、ここで言う「関係者」と「様々な取組み」とは具体的に何を指すのか、お教えてください。

Q18-3. 「地元関係者への説明会」の開催日と場所をお教えてください。地元では「JSCに訊いても『検討中』と答えるばかり

りで、計画がすべて決まってから結果だけ説明されても、地元の要望が反映されないのではないか」という懸念の声が広がっています。

新規質問:「新国立競技場に関するご回答のお願い」

問 1. 支出について

問 1-1. 現在の国立競技場の年間維持費は約 5 億円と聞いています。この 5 億円の内訳を具体的にお教えてください。

問 1-2. 現国立競技場の過去 5 年(2009 年-2013 年、代々木と切り離した霞ヶ丘単独の)収支結果をお教えてください。

問 1-3. 新国立競技場の年間支出額は、約 45 億円と聞いています。その内訳を具体的にお教えてください。

問 2. 環境アセスメントについて

この計画は、環境や景観に深刻な影響を与えると、国民の注視の的となっています。環境アセスメントは行われるのでしょうか？ 行う場合はその時期をお教えてください。行わない場合はその根拠をお示してください。

問 3. アジェンダ 21 との整合性

1999 年に IOC が採択した「オリンピックムーブメント・アジェンダ 21」にはこう記されています。

「既存の競技施設をできる限り最大限活用し、これを良好な状態に保ち、安全性を高めながらこれを確立し、環境への影響を弱める努力をしなければならない。既存施設を修理しても使用できない場合に限り、新しくスポーツ施設を建造することができる。新規施設の建築および建築地所について、これら施設は、地域にある制限条項に従わなければならない、また、まわりの自然や景観を損なうことなく設計されなければならない。」

新国立競技場のコンクールの募集要項と審査結果、そして現在進められている設計は、「既存の施設を最大限活用することなく」、「環境への影響を強めて」います。また、「地域にある制限条項に従わず」にデザインを募集し、「まわりの自然や景観を損なう」かたちで設計されています。以上のように、新国立競技場計画は、アジェンダ 21 に違反しています。現計画とアジェンダ 21 との整合性をお示してください。